

## 2022年度全国高校野球OBクラブ連合理事会（第1回）

日 時： 2022年5月7日（土）14：00～17：00

場 所： 神戸大学人間発達環境学研究科・中会議室 B

出席者： 前崎、宝槻、高山、小川、北野、長ヶ原

欠席者： 戒能

事務局： 彦次、三浦 リモート出席（谷、松村、松崎）

議 題：

1) 全国高校野球 OB クラブ連合加盟状況について（資料1）

<資料1>：

全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧

2) 2021 年度決算報告について（資料2）

<資料2>：

2021 年度決算報告

3) 2022 年度事業計画について（資料3）

<資料3>：

マスターズ甲子園2022（第19回大会）プログラム

4) 2022 地方予選大会について（資料4）

<資料4>：

マスターズ甲子園2022 大会 地方予選リーグスケジュール

5) 2023 大会準備状況について（資料5-1、資料5-2）

<資料5-1>：

マスターズ甲子園2021 - 2023 シリーズ（マスターズ甲子園2023 大会追加枠・ブロック枠）

<資料5-2>：

マスターズ甲子園2023（第20回記念大会）全国高校野球OBトーナメント

6) その他

<資料6>

高山理事提出資料一式

全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧（2022年5月6日現在：696校 42都道府県）

資料 1

県名	加盟校数	加盟OB校名	県名	加盟校数	加盟OB校名			
北海道・東北ブロック	北海道	8	苫小牧工業、札幌西、駒大苫小牧、札幌旭丘、苫小牧東、室蘭大谷、函館大付属有斗、静内	滋賀	2	八幡商業、比叡山		
	青森	0		京都	0			
	岩手	8	宮古、盛岡南、不来方、宮古商業、岩泉田野畑、宮古北、遠野、盛岡大附属、盛岡第一	大阪	38	北野、三国丘、大商学園、桜塚、市立都島工業、天王寺、春日丘、富田林、豊中、興国、香里丘、大手前、堺西、大教大付属池田、池田、浪速、羽曳野、東淀川、桃山学院、鳳、生野、関西創価、市岡、住吉、盾津、かわち野、大阪星光学院、港、八尾東・八尾翠翔、今宮、枚方津田、布施、市立東、PL学園、太成学院大、阿倍野、大教大附属天王寺、明星、関大北陽		
	宮城	11	白石、加美農業、大崎中央、中新田、白石工業、古川工業、佐沼、石巻工業、東陵、泉、石巻			兵庫	27	報徳学園、津名、市立西宮、西宮北、三田学園、須磨東、洲本、神戸国際大学付属、甲南、三原、洲本実業、県立芦屋、神戸村野工業、市立神港、尼崎北、神戸弘陵学園、高砂南、北須磨、県立西宮、赤塚山、伊丹北、明石、甲陽学院、姫路東、尼崎小田、滝川第二、舞子
	秋田	12	秋田南、金足農業、角館、秋田工業、能代、秋田商業、秋田西、大曲農業、湯沢商工、新屋、鷹巣、秋田			奈良	25	奈良北、奈良情報商業・桜井商業、御所実業、二階堂、桜井、高取、高取国際、高田、高田商業、奈良商工・奈良商業・奈良朱雀、五條、奈良、畝傍、大淀、生駒、広陵・大和広陵、郡山、吉野、耳成、香芝、奈良大学付属、郡山農業・城内、斑鳩・法隆寺国際、一条、西の京、片桐
	山形	7	鶴商学園、羽黒、鶴岡南、鶴岡工業、新庄北、山添、米沢興譲館	和歌山	16			市立和歌山、田辺、桐蔭、向陽、耐久、那賀、橋本、日高高校中津分校、新宮、箕島、和歌山工業、御坊商工、日高、海南、貴志川、伊都
	福島	18	福島商業、日本大学東北、勿来工業、安達、郡山、学校法人石川、磐城、帝京安積、福島東、福島、郡山北工業、湯本、郡山商業、福島工業、本宮、双葉、原町、相馬	鳥取	15	米子東、倉吉東、鳥取東、鳥取西、鳥取中央育英、境、八頭、鳥取城北、米子西、倉吉総合産業、米子北、鳥取工業、米子工業、鳥取商業、倉吉北		
関東ブロック	茨城	4	石岡商業、石岡第一、土浦第一、土浦日本大学	島根	16	出雲商業、松江東、出雲工業、三刀屋、石見智翠館、開星、大東、出雲西、出雲、松江北、太田、平田、大社、出雲北陵、出雲農林、江津		
	栃木	3	大田原、小山西、宇都宮	岡山	0			
	群馬	23	東京農業大学第二、高崎商業、高崎北、富岡、桐生市立商業、桐生工業、常盤、桐生第一、館林、吉井、沼田、桐生、県立前橋、桐生南、前橋育英、高崎、高崎工業、樹徳、利根商業、前橋工業、太田、前橋商業、武尊・尾瀬	中国・四国ブロック	広島	27	呉港、県立広島工業、崇徳、広、広島商業、府中東、三次、広陵、広島国泰寺、舟入、呉商業、五日市、海田、尾道商業、瀬戸内、広島電機大学付属、西条農業、呉宮原、廿日市、近大福山、福山誠之館、如水館、広島城北、廿日市西、高陽東、広島山陽、福山工業	
	埼玉	32	大宮工業、川本・寄居、武南、浦和、秩父農工、川越、大宮南、花咲徳栄、与野農工、聖望学園、大宮北、越谷北、所沢北、熊谷商業、桶川、城西大学付属川越、松山、春日部東、鴻巣、市立浦和、大宮東、南陵、春日部、狭山ヶ丘、朝霞、蕨、浦和学院、埼玉栄、熊谷、大宮西、川口、所沢			山口	12	岩国工業、厚狭、高水、岩国総合、下関商業、下関工業、岩国商業、豊浦、下関西、早鞆、下関中央工業、岩国
	千葉	1	東邦大学付属東邦			徳島	23	鳴門、城北、徳島商業、池田、新野、日和佐、小松島、那賀、阿南工業、板野、富岡西、小松島西、城南、徳島科学技術（東工業・徳島工業）、鳴門渦潮、城ノ内、徳島市立、川島、生光学園、阿波、名西、辻、城東
	東京	25	国学院大学久我山、小平、明治大学付属中野八王子、府中西、日比谷、保谷、狛江、東村山西、立川、新宿、豊多摩、安田学園、都立武蔵、修徳、日体荏原、駒場学園、二松学舎大学附属、東亜学園、日本大学第二、城北、中央大学附属、麻布、国分寺、国立、法政			香川	15	高松、小豆島、三本松、高松西、丸亀、高松第一、高松商業、坂出、高松北、観音寺第一、坂出商業、観音寺総合、高松東津田、高松南
	神奈川	30	武相、横浜、法政大学第二、相洋、横浜商業、東海大学付属相模、日本大学、藤沢翔陵、藤沢清流、桜丘、桐蔭学園、神奈川工業、藤嶺学園藤沢、鶴見工業、山北、日本大学藤沢、大師、南、横浜商科大学、逗子、百合丘、座間、相模原、相模田名、横須賀、桐光学園、厚木、川和、茅ヶ崎北陵、立花学園			愛媛	36	松山南、新田、三島、伊予、宇和、宇和島東、東温、松山工業、三瓶、大洲、川之江、西条、松山聖徳、松山西、丹原、松山北、今治西、新居浜西、小松、北宇和、吉田、松山商業、内子、宇和島南、帝京第五、今治東、松山東、今治北、東予、今治南、新居浜東、野村、今治工業、新居浜商業、大洲農業、愛媛大学農学部附属農業
	山梨	1	甲府商業			高知	5	高知、伊野商業、高知西、高知商業、土佐
	新潟	1	長岡			福岡	16	伝習館、祐誠、三池工業、久留米商業、三池、八女工業、大川、田川、宗像、小倉東、嘉穂、東海大学附属第五、須恵、九州産業大学付属、玄洋、八幡
	富山	17	伏木、滑川、新湊、高岡第一、石動、氷見、魚津工業、桜井、魚津、富山第一、高岡商業、不二越工業、呉羽、砺波工業、高岡向陵、富山工業、高岡			佐賀	4	佐賀商業、鳥栖、小城、唐津商業
石川	6	星稜、金沢桜丘、県立工業、金沢西、金沢、金沢学院	長崎			0		
福井	0		九州・沖縄ブロック			熊本	42	熊本工業、熊本第二、九州学院、熊本商業、熊本、開新、熊本学園大学付属、熊本西、鎮西、文徳、済々黌、熊本農業、東海大学付属熊本星翔、千原台、熊本北、玉名、鹿本商工、玉名工業、専修大学玉名、菊池、鹿本、大津、阿蘇清峰、小川工業、松橋、御船、伊佐、矢部、宇土、八代東、秀岳館、天草、八代工業、人吉、球磨工業、多良木、芦北、東稜、城北、小国、八代清流、必由館
長野	44	長野商業、松本深志、上田、岡谷南、松商学園、大町岳陽、松本工業、松本美須ヶ丘、岩村田、佐久長聖、長野吉田、飯山、松代、長野工業、塩尻志学館、赤穂、篠ノ井、飯田、長野日本大学、駒ヶ根工業、岡谷工業、松本県ヶ丘、小諸商業、穂高商業、須坂、南安曇農業、伊那北、下高井農林、上田西、下伊那農業、屋代、東京都大塩尻、丸子修学館、中野立志館、上田東、上田千曲、東海大諏訪、伊那弥生ヶ丘、梓川、松本鎌ヶ崎、野沢北野沢南、箕輪進修		大分	2		大分雄城台、高田	
岐阜	16	大垣商業、岐阜、加納、長良、市立岐阜商業、県立岐阜商業、岐阜工業、大垣北、斐太、大垣南、本巣松陽、加茂、大垣工業、東濃実業、中津商業、市立関商工		宮崎	20		日向学院、宮崎商業、宮崎南、宮崎大宮、宮崎日本大学、宮崎北、都城泉ヶ丘、鵬翔、都城商業、佐土原、宮崎西、都城、都農、宮崎工業、日南学園、小林西、都城農業、都城工業、宮崎第一、宮崎農業	
静岡	3	清水商業、清水工業、静岡商業		鹿児島	26		鹿児島実業、加治木、鶴丸、鹿児島工業、鹿児島玉龍、出水、鹿児島中央、鹿児島南、加世田、鹿屋工業、甲陵・名桜館、阿久根、加治木工業、国分、鹿児島商業、れいめい、武岡台、薩南工業、鹿児島、川辺、川内工業、指宿、鹿屋中央、錦江湾、伊集院、鹿児島情報	
愛知	16	大府、菊里、愛知商業、半田、刈谷、西尾、西尾東、成章、杜若、国府、愛知産業大学三河、愛知、津島、愛知工業大学名電、中部大学春日丘、阿久比		沖縄	12		北谷、読谷、コザ、那覇、中部農林、具志川商業、興南、嘉手納、北中城、浦添商業、那覇商業、浦添工業	
三重	30	三重、津西、四日市南、津商業、四日市西、上野、神戸、名張桔梗丘、宇治山田商業、四日市工業、宇治山田、明野、伊勢、海星、伊勢工業、相可、松阪商業、津東、松阪、久居農林、木本、いなべ総合学園、鈴鹿、津工業、津、南勢、桑名北、川越、久居、稲生						

※朱色はマスターズ甲子園2022地方予選大会リーグを示す  
 ※各県の先頭に記載している高校は幹事校を表す

## 全国高校野球OBクラブ連合／2021年度決算報告

2021年12月31日

## 収入の部

(税込)

項目	予算額	途中決算額：総会時	決算額	備考
1. OBクラブ連合加盟費・年会費収入				
全国高校野球OBクラブ連合加盟費	160,000	40,000	50,000	5校
全国高校野球OBクラブ連合年会費	6,430,000	6,430,000	6,430,000	643校
小計	6,590,000	6,470,000	6,480,000	
収入総額	6,590,000	6,470,000	6,480,000	

## 支出の部

(税込)

項目	予算額	途中決算額：総会時	決算額	備考
1. マスターズ甲子園2021大会補助費				
大会ガイドブック関連制作・編集・印刷・郵送費	2,260,000	1,920,000	1,920,000	
大会広報媒体・印刷物制作・郵送費、大会準備・贈送総費	2,900,000	2,890,319	2,890,319	
小計	5,160,000	4,810,319	4,810,319	
2. 総会関連費				
会議費、会場・備品借上費	450,000	912,860	912,860	ブロック会議開催費含む
小計	450,000	912,860	912,860	
3. 全国高校野球OBクラブ連合事務局運営費				
事務局運営費	270,000	211,000	211,000	
小計	270,000	211,000	211,000	
4. 理事会関連費				
会議費	550,000	486,430	486,430	
小計	550,000	486,430	486,430	
支出合計	6,430,000	6,420,609	6,420,609	
貯蓄費	160,000	40,000	50,000	
予備費	0	9,391	9,391	
支出総額	6,590,000	6,470,000	6,480,000	

## 全国高校野球OBクラブ連合／積立金

(税込)

項目	貯蓄金	途中決算額：総会時	決算額	備考
積立金				
2012年度（加盟費）	260,000	260,000	260,000	
2013年度（加盟費、予備費）	157,565	157,565	157,565	
2014年度（加盟費、予備費）	157,565	157,565	157,565	
2015年度（加盟費、予備費）	510,000	510,000	510,000	
2016年度（加盟費、予備費）	280,000	280,000	280,000	
2017年度（加盟費、予備費）	670,000	670,000	670,000	
2018年度（加盟費、予備費）	361,808	361,808	361,808	
2019年度（加盟費、予備費）	320,000	320,000	320,000	
2020年度（加盟費、予備費）	179,347	179,347	179,347	
2021年度（加盟費、予備費）	160,000	49,391	59,391	
小計	3,056,285	2,945,676	2,955,676	
合計	3,056,285	2,945,676	2,955,676	

2021年 全国高校野球OBクラブ連合収支決算書は、上記の通り相違がないことを報告します。

2021年12月31日  
全国高校野球OBクラブ連合理事長

長 7 原 誠 

監査の結果、2021年全国高校野球OBクラブ連合収支決算書は、上記の通り相違ないと認めます。

2021年12月31日  
全国高校野球OBクラブ連合監事

北野 賀大 

## マスターズ甲子園2021実行委員会/2021年度決算報告

2021年12月31日

収入の部		(税込)			
項目	予算額	途中決算額：総会時	決算額	備考	
1. 大会補助費	マスターズ甲子園2021大会補助費	5,160,000	4,810,319	4,810,319	全国高校野球08クラブ連合より
	小計	5,160,000	4,810,319	4,810,319	
2. 試合参加料	代表08試合参加料	10,000,000	9,000,000	9,000,000	出場08チーム(18チーム)
	小計	10,000,000	9,000,000	9,000,000	
3. キャッチボール参加料	甲子園キャッチボール	1,060,000	0	0	今大会プログラム募集中止
	小計	1,060,000	0	0	
4. 共催金収入	共催金(朝日新聞社)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
	小計	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
5. 協賛金収入	特別協賛	1,000,000	1,000,000	1,000,000	ミズノ(アシックスより変更)
		1,400,000	1,000,000	1,000,000	サントリー
		2,000,000	1,000,000	1,000,000	パナソニック(特別協賛より大会協賛に変更)
	ブース協賛	500,000	500,000	500,000	フォトクリエイト
		500,000	500,000	500,000	交友印刷
	バナー協賛	100,000	100,000	100,000	シンク
小計	5,500,000	4,100,000	4,100,000		
6. 広告料収入	大会ガイドブック広告枠	300,000	250,000	250,000	
	小計	300,000	250,000	250,000	
7. 寄付金収入	団体寄付	30,000	0	0	
	個人寄付	30,000	0	0	
	小計	60,000	0	0	
8. 助成金収入	中内財団助成金	800,000	800,000	800,000	
	小計	800,000	800,000	800,000	
9. 収益金収入	ガイドブック販売	380,000	81,500	81,500	163冊子購入
	公式グッズ販売	1,500,000	0	0	販売中止(ミズノ直接販売)
	写真販売収入	100,000	100,000	113,100	
	小計	1,980,000	181,500	194,600	
収入合計	25,860,000	20,141,819	20,154,919		
前年度繰越金	0	0	0		
収入総額	25,860,000	20,141,819	20,154,919		

支出の部		(税込)			
項目	予算額	途中決算額：総会時	決算額	備考	
1. 甲子園球場会場費	甲子園使用料	10,900,000	11,372,000	11,372,000	付帯施設・清掃代・衛生管理費用含む
	備品・広告(肖像権)使用料	650,000	524,260	524,260	
	小計	11,550,000	11,896,260	11,896,260	
2. 大会広報・印刷・諸準備	大会ガイドブック関連作成・郵送費	2,260,000	1,940,000	1,940,000	全国高校野球08クラブ連合大会補助費より
	大会広報媒体・印刷物制作・郵送、大会準備・諸連絡	3,060,000	2,890,319	2,890,319	全国高校野球08クラブ連合大会補助費より
	小計	5,320,000	4,830,319	4,830,319	
3. 大会運営費	電話開設・インターネット関連費	300,000	467,022	467,022	
	スタッフ・ボランティア関連費・保険料	1,700,000	1,820,119	1,820,119	PCR検査・保険
	応援団体・交通・宿泊・運搬・運営関連諸費	2,950,000	475,221	475,221	応援団体への依頼中止
	小計	4,950,000	2,762,362	2,762,362	
4. 大会公式グッズ購入費	記念球・ケース	360,000	0	0	ミズノ直接販売
	ウェア、帽子、スポーツタオル、各種ストラップ	1,400,000	0	0	ミズノ直接販売
	小計	1,760,000	0	0	
5. 大会事務局費	WEBインフラ・制作関連費	800,000	313,004	313,004	
	実行委員会会費	700,000	181,256	181,256	
	事務局運営関連費	780,000	150,000	167,681	
	小計	2,280,000	644,260	661,941	
支出合計	25,860,000	20,133,201	20,150,882		
予備費	0	8,618	4,037		
支出総額	25,860,000	20,141,819	20,154,919		

マスターズ甲子園2021の収支決算書は、上記の通り相違がないことを報告します。

2021年12月31日  
マスターズ甲子園2021実行委員会実行委員長

取原 誠

監査の結果、マスターズ甲子園2021の収支決算書は、上記の通り相違ないと認めます。

2021年12月31日  
マスターズ甲子園2021実行委員会監事

北野 賀大



# マスターズ甲子園2022(第19回大会)プログラム

大会開催日:11月19日・20日 雨天順延日:12月8日

前日式典:マスターズ甲子園2022前夜祭(会場:ホテルヒューイット甲子園)

## <大会第1日目>

8:00 - 8:25	開会式・入場行進
8:35 - 10:05	代表OB第一試合
<b>鹿児島県代表 — 埼玉県代表</b>	
10:15 - 11:45	代表OB第二試合
<b>群馬県代表 — 宮城県代表</b>	
11:55 - 13:25	代表OB第三試合
<b>沖縄県代表 — 岩手県代表</b>	
13:35 - 15:05	代表OB第四試合
<b>福岡県代表 — 鳥取県代表</b>	
15:15 - 16:45	代表OB第五試合
<b>福島県代表 — 徳島県代表</b>	
16:50 - 17:00	甲子園キャッチボール 【球友編】【親子編】【夫婦編】 【ボランティア編】

## <大会第2日目>

8:00 - 9:30	代表OB第一試合
<b>熊本県代表 — 三重県代表</b>	
9:40 - 11:10	代表OB第二試合
<b>奈良県代表 — 宮崎県代表</b>	
11:20 - 12:50	代表OB第三試合
<b>和歌山県代表 — 長野県代表</b>	
13:00 - 14:30	代表OB第四試合
<b>愛媛県代表 — 大阪府代表</b>	
14:40 - 16:10	代表OB第五試合
<b>愛知県代表 — 島根県代表</b>	
16:20 - 16:30	甲子園キャッチボール 【球友編】【親子編】【夫婦編】 【ボランティア編】
16:35 - 17:00	閉会式

### 1. 開会式

マスターズ甲子園2022に出場する全チームの選手が、かつて夏の高校野球甲子園大会の開会式でプラカード係として出場した市立西宮高校OGの先導により入場行進を行ないます。選手、スタッフ、ボランティアが甲子園球場に一同に会し、夢の舞台に集結した感動と、第19回大会への期待感を甲子園グラウンド上で共有します。

### 2. 代表OB試合

全国高校野球OBクラブ連合加盟リーグの中で、20都道府県において地方予選大会を開催し、各予選から選出された代表・選抜校の計20チームによる10試合を開催します。

### 3. 甲子園キャッチボール(球友編)

代表OB試合の地方予選リーグ参加の有無に関わらず、全ての元高校硬式野球部関係者(高校野球部OB・OG選手、監督、部長、コーチ、マネージャー)を対象としたキャッチボールプログラムを開催します。参加者は元高校硬式野球部関係者によるペア登録とし、かつてのチームメイトに限らず、他の高校OB・OG、兄弟姉妹、先輩・後輩、指導者・選手、等々、出身高校と世代、性別を超えた自由な組み合わせで参加できるオープンプログラムとします。

### 4. 甲子園キャッチボール(親子編)

親子ペア参加による甲子園キャッチボールを募集します。親子(祖父母・孫含む)のいずれか片方が元高校硬式野球部関係者(高校野球部OB・OG選手、監督、部長、コーチ、マネージャー)であれば参加可能とし、野球の原点でもある親子のキャッチボールによって、甲子園での「フィールド・オブ・ドリームス」を実現します。

### 5. 甲子園キャッチボール(夫婦編)

夫婦のいずれか片方が元高校硬式野球部関係者(高校野球部OB・OG選手、監督、部長、コーチ、マネージャー)であれば参加できるキャッチボールを行ないます。

### 6. 甲子園キャッチボール(ボランティア編)

どちらかが過去の大会にボランティア・スタッフとして参加したことのある者であれば参加できるキャッチボールを行います。

### 7. 閉会式

大会最後にマスターズ甲子園2022に関わった全ての参加者や関係者、運営スタッフの大会参与と貢献を互いに称え、本大会において得た感動と興奮を共有し、自らの原点回帰への想いと、現在と将来の高校球児に対する応援歌として、「栄冠は君に輝く」を甲子園球場で合唱しフィナーレとします。

## マスタース甲子園2022大会 地方予選リーグスケジュール (2022.05.06 時点)

		リーグ	予選開催日	出場チーム数
1日目	第1試合	鹿児島県	2022.07.18~09.18	19
		埼玉県	2021.10.09~11.28 浦和学院OB	29
	第2試合	群馬県	2022.05.01~08.21	24
		宮城県	各対戦校によって決定	8
	第3試合	沖縄県	2022.04~05 決定予定	-
		岩手県	2022.06~07 開催予定	-
	第4試合	福岡県	2022.05.22~07.30	11
		鳥取県	2022.05.08~08.28	11
	第5試合	福島県	2022.05.21~07.03 日大東北OB	14
		徳島県	2022.06.19~08.21	22
2日目	第1試合	熊本県	2022.07 地区予選終了 2022.08.13 / 08.14 決勝トーナメント開催予定	-
		三重県	2022.03.05~03.19 海星高校OB	20
	第2試合	奈良県	2022.05.03~ ※準々決勝以降の日程は未定	22
		宮崎県	2022.05末 抽選会	-
	第3試合	和歌山県	2022.04.10~07.10	18
		長野県	2022.05.14~09.17	43
	第4試合	愛媛県	2022.08~09 2022.07頃 決定	-
		大阪府	2022.05.07~08.14	32
	第5試合	愛知県	2022.05.04~06.18	16
		島根県	予選大会中止(合同チームで出場)	-
		合計		



## マスターズ甲子園2021-2023シリーズ (マスターズ甲子園2023大会追加枠・ブロック枠)

マスターズ甲子園2020(第17大会)の中止に伴い、当初予定されていた2020-2022シリーズを、1年ずつ次年に移行し、2021-2023シリーズとして変更する。2022年2月24日での各年の地方予選リーグ枠は以下の通り。

2021大会(第18回大会) 12月4・5日間開催(8試合)		2022大会(第19回大会) 11月中2日間開催(10試合) (大会日程は2022年3月上旬に決定)		2023大会(第20回大会) 11月中2日間開催(10試合) (大会日程は2023年3月上旬に決定)	
北海道	大阪	岩手	長野	<b>&lt;2023大会追加枠:14枠&gt;</b>	
秋田	兵庫	宮城	愛知	※2022時点	
埼玉	奈良	福島	三重		
東京	島根(辞退)	群馬	大阪		
神奈川	広島	和歌山	奈良		[ブ] 東日本3位
富山	徳島	鳥取	島根		[ブ] 西日本3位
長野	香川	福岡	徳島		[ブ] 東日本2位
岐阜(辞退)	愛媛	鹿児島	愛媛		[ブ] 西日本2位
愛知	熊本	沖縄	熊本		[ブ] 東日本1位
三重	宮崎	埼玉	宮崎		[ブ] 西日本1位

### <2022大会追加枠>

※[ブ]はブロック大会を示す

2022大会追加枠に申請を希望する都道府県リーグ(2022大会申請枠を除く)は、所定の「予選大会登録書(追加枠用)」の入力フォームに必要事項を入力し(8チーム以上の登録を条件)、2021年11月1日までに大会事務局に提出。両登録書を受理後、2021年総会において加盟都道府県の出席者による抽選会を行い、2021大会追加枠上限まで予選大会リーグとして確定した。ただし、この2022大会追加枠に対し、これまでマスターズ甲子園本大会に出場していない新規の都道府県からの応募があった場合は、予選大会リーグとして優先的に確定されるが申請はなかった。

### <2023大会追加枠>

2023大会追加枠に申請を希望する都道府県リーグ(2023大会追加枠確定リーグを除く)は、所定の「予選大会登録書(追加枠用)」の入力フォームに必要事項を入力し(8チーム以上の登録を条件)、2022年9月22日までに大会事務局に送信する。両登録書を受理後、2022年総会において加盟都道府県の出席者による抽選会を行い、2023大会追加枠上限まで予選大会リーグとして確定する。ただし、この2023大会追加枠に対し、これまでマスターズ甲子園本大会に出場していない新規の都道府県からの応募があった場合は、予選大会リーグとして優先的に確定されることとする。

### <2023大会ブロック枠(20周年記念・第2回全国高校野球OBトーナメント)>

①北海道・東北ブロック、②関東ブロック、③北信越・東海ブロック → 東日本大会

①近畿ブロック、②四国・中国ブロック、③九州・沖縄ブロック → 西日本大会

2023大会ブロック枠に申請を希望する都道府県リーグは、所定の「予選大会登録書(ブロック枠用)」の入力フォームに必要事項を入力し、2022年9月22日までに大会事務局に送信する。ブロック枠に申請した各都道府県予選リーグは予選大会を実施し、代表チームを選出する(代表チームは単独OB校を原則とする)。次に、全国6箇所でのブロック大会を開催し、各ブロック代表を1チーム選出する。各ブロック代表チームは、それぞれ東日本大会と西日本大会に出場し、各ブロック代表3チームによる総当たりによる順位決定戦を行う。これらの各ブロック代表6チームは、マスターズ甲子園2023(20周年記念)甲子園本大会に出場し、東西各3位と各2位の試合を行い、大会最終試合に東西1位チームによる高校野球OB決勝戦とする。

## マスターズ甲子園2023(第20回記念大会) 全国高校野球OBトーナメント

### 【概要】

マスターズ甲子園第20回記念大会の特別プログラムとして、全国高校野球OBクラブ連合加盟校による都道府県リーグからの代表OBチーム選出、ブロック大会と東日本・西日本大会の予選大会を通じて、東西1位から3位までの計6チームにより、東西各3位チーム、東西各2位チーム、最終戦では東西各1位チームによる優勝決定戦を開催する。

### 【予選・本大会スケジュール】

#### 1. 都道府県大会(2023年7月31日までに代表チーム決定報告)

- 各都道府県リーグから、「全国高校野球OBトーナメント参加申請書」を大会事務局に提出(2022年9月22日まで)。同申請書のフォームは各都道府県リーグ幹事に大会事務局よりメール添付で送付する。
- 全国高校野球OBクラブ連合に加盟する(1チーム以上)の登録を都道府県大会の開催条件とする。
- 2023年7月中旬までに予選大会を開催し、ブロック大会に出場する代表1チームを決定。
- 代表チームの選出方法は各都道府県大会に委ねる。ただし、代表チームは単独OB校を原則とする。
- 2023年7月31日までに、各都道府県リーグ幹事は代表チーム出場者名簿を、ブロック幹事と大会事務局に提出。代表出場者名簿のフォームは、各都道府県リーグ幹事に大会事務局よりメール添付で送付する。

#### 2. ブロック大会(2023年8月中旬から下旬の週末開催)

- 以下の6地区で各都道府県代表チームによるトーナメント戦を開催し、各ブロック代表1チームを決定する。
- 球場の手配と大会準備、および当日の大会運営は各ブロック幹事が担当する。
- 2023年8月31日までに東日本大会・西日本大会に出場する代表1チームを決定し、大会事務局に報告する。

##### 1)北海道・東北ブロック大会

対象リーグ 北海道、青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島

##### 2)関東ブロック大会

対象リーグ:茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨

##### 3)北信越・東海ブロック大会

対象リーグ:新潟、長野、富山、石川、福井、静岡、愛知、岐阜、三重

##### 4)近畿ブロック大会

対象リーグ:京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、滋賀

##### 5)中国・四国ブロック大会

対象リーグ:岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知

##### 6)九州・沖縄ブロック大会

対象リーグ:福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

### 3. 東日本大会・西日本大会(2023年9月中の週末開催)

- 各ブロック代表チームは、それぞれ東日本大会(北海道・東北ブロック、関東ブロック、北信越・東海ブロック)、西日本大会(近畿ブロック、中国・四国ブロック、九州・沖縄ブロック)に出場し、各ブロック代表3チームによる総当たりによる順位決定戦を行う。これらの各ブロック代表6チームは、マスターズ甲子園2023大会に出場し、東西の各3位と2位同士の試合を行い、最終戦を東西1位同士による高校野球OB決勝戦とする。
- 球場手配と大会準備、当日運営は、各ブロック幹事による協議により、西日本ブロック幹事、東日本ブロック幹事を選出し、開催準備と大会運営を担当する。

1)東日本大会:北海道・東北ブロック、関東ブロック、北信越・東海ブロック

2)西日本大会:近畿ブロック、中国・四国ブロック、九州・沖縄ブロック

- 2023年9月26日までに、東日本大会・西日本大会の1位・2位・3位の各チームを大会事務局に報告する。

### 4. 甲子園本大会(2023年11月中)

- 大会2日目に東西の各3位同士と2位同士の試合を行い、最終戦を東西の1位同士による高校野球OB決勝戦とする。
- 優勝チームは、試合終了後に校歌を斉唱する。
- 閉会式において優勝チームには優勝旗、準優勝チームには盾、選手全員にはメダルを授与する。

<東日本・西日本代表チームと追加枠出場チームが重複した場合の措置>

- 2023年追加枠の出場チームがブロック代表チームとなった場合には、その都道府県大会の準優勝OBチームが本大会追加枠で出場する。

<経費について>

- 都道府県大会の経費は各都道府県リーグが負担する。
- 各ブロック大会および東・西日本大会の球場使用料を含めた大会運営諸経費、および甲子園本大会での優勝旗、盾、メダルには、全国高校野球OBクラブ連合積立金を充てる。
- 甲子園本大会に出場する各ブロック代表の出場費は、他の代表チームと同様とする(1チーム50万円、参加に関わる交通費および宿泊費は自費)

2022年 5月 1日

全国高校野球OBクラブ連合  
理事長 長ヶ原 誠 殿

関東ブロック  
高山 伸 紀

2022年2月24日 理事会議事録より資料作成の件

○2022年2月24日 理事会議事録より

その他

(地方予選リーグの組織体制について)

高山理事より、ブロック内の地方予選リーグに関わる組織体制について昨今の状況と課題を踏まえた報告がなされ、全国高校野球OBクラブ連合に関しては、特に各地方予選リーグ幹事の役割について確認された。理事長より、施行細則(入会・定款第7条)に基づき、各幹事校の位置づけと役割についての説明と共に、各理事からは規約・細則を伴った連盟としての組織育成の中で、各地方に最適な体制と役割を検討していく必要性が指摘された。規約・細則について神奈川県リーグで検討を進めている高山理事から4月総会の承認後に情報提供の上、本理事会でも共有していくことが確認された

下記資料を作成しましたので宜しくお願いします。

2022年 4月10日  
全国高校野球OBクラブ連合  
理事 高山伸記

### 全国高校野球OBクラブ連合の幹事校の位置付けについて

全国高校野球OBクラブ連合の定款及び細則には幹事校に対する項目は、細則の第2章、会員、第4条、第5条に職務が明記されています。内容は加盟への入会及び退会の地方予選リーグの責任校としての役割が明記されていますが、地方予選リーグの責任校としての全国高校野球OBクラブ連合事務局からの報告事項を各都道府県連盟・連合及び予選リーグ加盟校への報告等も幹事校の職務であると思いますし、地方予選リーグの取り纏めを行い、各都道府県連盟・連合の大会運営においての中心的な立場の中で、責任ある行動を取る事が地方予選リーグ幹事校としての職務であり責任と私は考えます。現状では、全国の幹事校が各都道府県で組織の中での立場が確立されておらず、活動が出来ていないように思われます。それぞれの都道府県において設立当初の経緯、現状の組織体制等の様々な状況があるとは思いますが、各都道府県の幹事校の職務認識が薄くなかなか幹事校としての立場での職務が発揮出来ていないように思われます。

又、加盟校の統廃合によるOB会の今後の体制に関わるチーム構成による加盟の考え方、廃校による大会参加の考え方、社会的事象の発生（今回は新型コロナウイルス感染拡大）による大会参加辞退（休会）に対する期間等の考え方が各都道府県で判断が難しい状態だと思われますので、20回大会に向けて全国理事会で幹事校の位置付け及び加盟校の統廃合及び大会参加辞退（休会）の議論をしたものを纏めて、幹事校の役割と統廃合による退会参加の考え方、大会参加辞退（休会）に対する処置を明確にして、細則もしくは取り決め事項として各都道府県連盟・連合に通達し各地方予選リーグ（各都道府県連盟、連合）において全国統一的な決め事として大会運営をして頂けるようにしては考えます。

○私が関係する幹事校に対する事象

○北海道高校野球OB連合での事象

当初、帯広南商業高校OB会が全国高校野球OBクラブ連合に北海道としてはじめて加盟をして、帯広南商業高校OB会が北海道の幹事校となり同校の野村さんが責任者としていましたので、何度か北海道に訪問した折に今後の対応を協議していましたが、苫小牧地区において加盟の動きが起こり何とか8校の登録が進み本大会への参加が実現しました。

その後、野村さんの対応に対して苫小牧地区の加盟校の中で不満が出るようになり、第1回目の甲子園大会出場を終えた後に幹事校の変更をして現在は、苫小牧地区を中心に札幌地区、函館地区の加盟校で大会を開催して組織の充実を進めています。

私とすると、北海道に関しては設立当初の経緯とか、今後の体制作りにおいて最初の幹事校を大切に頂いた上での組織変更を模索して頂ければありがたかったと思いますし、現状では帯広地区の加盟校は無くなり、北海道は広いですし高校野球の南北北海道の参加校も多くて、今後において帯広地区、釧路地区、旭川地区等の加盟校の参加を考えるともう少し柔軟な方法があったのでは無いかと思っております。

○神奈川県高校野球OB連合での事象

設立当初は横浜高校OB会が幹事校であったがその後武相高校へ変更した。理由は高山が県OB連合の事務統括をしていた事と、全国理事に着任した事で、事務の効率化のために変更をした。

○東京都高校野球OB連盟での事象

幹事校の変更についての意見が合わず方向性を模索している状態であり、設立当初からの幹事校である小平高校の酒井さん（前会長）と、現会長の立川高校林会長との間での両校の参加当初から話し合いが出来ていなく、又、双方からの情報伝達が不十分であった事から、両者の溝が発生しておりいまだに解決の方向性が見い出せない状況で、今後の東京都高校野球OB連盟の発展及び今期に設立する予定の関東高校野球OB連盟への組織体制に影響が及ぶ事が心配されます。

新型コロナウイルス感染状況下での大会運営に意見の違いがあり、その事から幹事校の役割の件となり、変更との事に話が動いているように思われます。

コロナ渦での大会開催についての私の考え方は、あくまでも安全第一での開催が大原則であるが、下記の主催者が大会を継続する意義を進めることが重要と考えますので慎重な対応をしながら大会運営を進めていく事を望みます。

幹事校の変更は酒井さん個人の事でなく、今後も小平高校OB会が東京都の幹事校としての機能が来て、続ける決意があるのかが第一であると思えますし、それが出来ないのであれば変更との判断をしてはと思います。

東京都の高野連加盟校は東西合わせて272校で全国一位の加盟数であり、今後のマスターズ甲子園への参加校の増加と、各競技団体（東京都スポーツ局・プロ野球・社会人硬式・軟式野球連盟・大学野球・高野連・中体連・ボーイズ、シニア連盟・他競技団体メディア・スポーツメーカー等）との連携を進める上で東京都高校野球OB連盟の組織を強固なものにする為に、体制の安定を図る事を進めていく上で各協議団体との人脈を持っている方の位置づけも大切であり、何よりも東京は日本経済、社会の中枢の都市であり今後においてマスターズ甲子園が発展して行く上で重要な位置にいる事を念頭に置き、すべての中心である事を考える時期に来ていると思いますので、早期に解決をして強固な組織作りをして頂きたいと思います。

○解決策として下記の方法ではと考えます。

- ①小平高校OB会（酒井さん）が責任をもって幹事校としての職責を全うするとの決意の下で、副幹事校を選任して双方で職務を進めていく。
- ②変更をするのであれば小平高校OB会（酒井さん）を新幹事校の相談役との位置付けで当面は引継ぎ等を進める。
- ③東京都高校野球OB連盟役員会の承認があるのならば、小平高校OB会（酒井さん）には幹事校を辞任してもらおう。

○主催者が大会を継続（開催）する意義

- ①状況に応じて大会を開催するための責任がある。
- ②大会を継続することで信頼を得ることができる。
- ③大会を継続し続けることで伝統が生まれる。

その結果、組織が充実して発展する。

今までに経験をした事がない事態である、感染症の発生下での大会運営はすべてが模索状態であり対応が難しい状況下での判断は組織全員が知恵を出してことにあたる事が第一であり話し合いの結果、決定したことには全員で決めたことに対して進んで行く事が大切であると思いますので、その行動が今後の対応の協議に役に立ちますし、今の感染者の状況においては、先ず第一に無理はしませんが大会開催に向けて動き出して大会を成功させることを考えるべきだと思いますし、新型コロナウイルス感染症との共存の中での大会開催を今後も続けるようになるとは思いますし、出来ない。中止との考えも必要ですが、今までと違う社会での大会をと考える事が大事だと思います。

最後は、自己責任の下での大会開催で進むべきであろうと思いますし、体調が悪い方は参加をご遠慮頂いて、もし試合が出来ないのであれば不参加との判断は仕方が無い事で、その辺の決め事を作りそれに則って対応をする事とすればよいと考えます。

○統廃合及び大会参加辞退（休会）の考え方・神奈川県高校野球OB連合細則作成

## 神奈川県高校野球OB連合 細則

### 第1章 組織

（マスターズ甲子園神奈川県実行委員会）

第1条、1、理事会にマスターズ甲子園神奈川県実行委員会を置く。

2、マスターズ甲子園神奈川県実行委員会はマスターズ甲子園神奈川県大会に必要な企画、準備及び実施に関する事、並びに関係機関及び団体との連絡に関する事務処理を神奈川県高校野球OB連合（以下県連合）事務局と連絡を取りながら運営する。

第2条 1、マスターズ甲子園神奈川県実行委員長の任期は2年として県連合理事会の承認で決定する。ただし、欠員が生じた場合の任期は、前任者の残存期間とする。ただし再任は妨げない。

2、各加盟校のマスターズ甲子園神奈川県実行委員（2名）及び、各加盟校連絡責任者（1名）は、各加盟校の代表として責任のある活動をして頂ける方を選任して頂いて、連合運営、大会運営の任にあたる。

### 第2章 会員

（入・脱会・規約第5条）

第3条 1、本会に入会をしようとするOB会、もしくは全国高校野球OBクラブ連合のホームページより入会の申出があったら、県連合事務局は申出のあったOB会責任者と連絡を取り、加盟に関する説明会を開催して、加盟の意思確認を行った後に加盟申請書と各種の決められた書類の提出を求めて、加盟確認をした上で書類を受理して理事会にて承認された後に、直近の通常総会にて承認を得て入会とする。

尚、県連合事務局は全国高校野球OBクラブ連合理事長宛に速やかに入会承認をして全国高校野球OBクラブ連合への入会手続きを取る。

第4条、1、本会を脱退しようとするOB会は、県連合事務局に申し出をして退会届を提出して、理事会にて承認を取り、直近の通常総会での承認を持って退会とする。又、県連合事務局は通常総会後に速やかに全国高校野球OBクラブ連合理事長宛に退会手続きを行う。

尚、再度、加盟の申請をするOB会は、上記、第2章、第3条、1の手続きを行った後に理事会、通常総会の承認後の再加盟とする。

第5条、1、本会の予選大会にやむをえず参加は出来ないが、県連合には引き続き登録をする事とするOB会は（休会）、県連合事務局に申し出をして休会届と理由書を提出して、理事会の承認を取るものとする。

尚、休会の考え方は、母校の統廃合、OB会の組織変更、等の明確な事象が発生して直近の大会に参加が出来ず、大会への再参加が概ね2年程度の期間をおけば大会へ参加ができる見込みが立てられる事と、理事会で判断ができれば休会処置が取れるものとする。又、大会参加費、事務局運営費等の納入は理事会の決定事項を遵守するものとする。

### 第3章 役員

(役員・規約・第7条)

第6条、1、役員の改選・選任・解任は規約第8条の通りとして、改選・選任は神奈川県高校野球OB連合の運営理念の下で、OB会相互の親睦とマスターズ甲子園の普及及び発展に努力をして頂き活動をして頂ける方とする。

(設立当初の理事校理事での選任の考え方を変更する。)

### 第4章 総会

(開催・規約・第14条)

第7条、1、通常総会は理事会での議事決定及び承認の後に開催する。通常総会での決定事項は各OB会の責任者は持ち帰り必ず各OB会員に報告をして、各種決定事項の徹底を図り運営に協力する事とする。

尚、県実行委員会及び各種会議での決定事項も上記の通りとして、報告の徹底と、連合運営、大会運営に協力する事とする。

### 第5章 理事会

(構成・規約・第20条)

第8条、1、本会の理事会は本連合の最高決定機関である事を認識して各理事は職にあたり職務執行をする事として、やむを得ず理事会に欠席の場合は会長宛に委任状を必ず提出する。(委任状の提出がない場合は理由書の提出を求める。)

### 第6章 会計

(会費・第27条・会計・第28条)

第9条、1、本会の会費の決定は前年度の決算報告を元に予算案を組み、本年度の大会運営費及び事務局運営費を決定して、理事会の承認の下で通常総会に諮るもので、予算案に対しては現状の社会情勢を鑑みながら各OB会に負担にならないように計画を立てるものとする。

2、本会の会計に於いて繰越金が発生した場合には、次年度の予算案作成に反映させるべき事として、その手続き等は事務局で作成して理事会の承認の下で通常総会での承認とする。

附則 この細則は、2022年 4月 3日から施行する。